

高校生と議会との意見交換会における

高校生からの意見・要望事項について

令和5年1月16日

西予市議会

西予市長 管家一夫 様

高校生と議会との意見交換会における
意見・要望事項について

西予市議会は議会基本条例第5条第4項に基づき、市民に開かれた親しみやすい議会にするため、毎年「市民と議会との意見交換会」を開催しています。

今年度も引き続き、各高校において意見交換会を実施し、市政についてのご意見やご要望をいただきました。

別紙のとおり一覧にして申し送りいたしますのでご回答をお願いいたします。

令和5年1月16日

西予市議会議長 小玉 忠重

宇和高校

※募集停止後、閉校となる三瓶分校の活用

小学校などの廃校舎をコワーキングスペースとして活用している事例がある。

三瓶分校は令和6年度末に閉校となるが、ぜひ廃校舎やグラウンドを残して、西予市として有効活用してもらいたい。

※地元のお店と宇和高校生物工学科との商品の共同開発・販売

宇和高校の魅力をPRするために、例えば商店街のパン屋さんと共同して、生物工学科の栽培した野菜を使って商品開発するような提案のサポートはできないか。

※大学等進学に関する補助金の拡充を

ひとり親家庭など経済的に厳しい世帯の子どもが進学する場合など、負担を減らすため、県外へ受験に行くときの交通費など、上限付きでもいいので市独自の補助制度は検討できないか。

※高校生が参加できるイベントの開催を

「料理対決」のように、高校生が参加できるイベントがあればいいと思う。

昨年度の意見交換会での提言の内容が実現し、市内3つの高校による料理対決を計画しているが、今後どのようにしていくか基本的な柱を作ったうえで、令和5年度に実施できるように計画している。

西予市のPRと高校のPRのために進めていくものであり、料理対決に限らず、年々内容も変化することによって、広がりをもったものにしていき、継続できる事業となるよう引き続き西予市のサポートをお願いしたい。

※西予市のお金（予算）の使い道は

市の行事（事業）など、いろいろなことに使われる予算はどうやって決めているのか。また、何に使われているのか。わからない点も多いので教えてもらいたい。

宇和高校三瓶分校

※施設整備

都会から田舎に来やすい環境をつくって欲しい。

旧三瓶支所跡地は現在駐車場となっているが、冬には前の公園でイルミネーションを行っており、例えば、跡地に三瓶町体育館のような大規模な施設でなく、屋外にバスケットボールリング、室内に卓球やバドミントンコートなど、気軽に足を運べるような施設を整備すれば若者たちも集まりやすい場所となるのではないかと。また、同じ施設に飲食店が入れるスペースを確保するなど複合的な施設とすることで三瓶地域の活性化につながるのではないかと。

※子育て環境

将来的に西予市に帰ってくる時に、家族を持つと思うが、家族で子育てしやすい環境整備や支援が充実していて、近くに便利なものがあると良い。

※情報発信

近年、スローライフを求める方が増えている。三瓶地区は、自然豊かで良いものがたくさんあるので、動画作成とか、記事にするとか、都会にどんどんPRする工夫が必要ではないかと。

以前、地域みらい留学でネットを介して、他県の方に紹介できることがたくさんあった。実際に会うことが難しくても、市内3校だけではなく、市外の高校とも交流できたら交流の場が広がり、話をしていく中で三瓶の魅力が伝わると思う。

地域内の情報も知らないことが多く、SNS等を活用して効果的な情報発信が必要である。情報発信することで集客につながるといった効果があれば、地域の方も喜んでもらえるのではないかと。地元を知らなかったら市外の方には伝わらない。私たちも地域探求プログラムを通して三瓶について学び、今まで知らなかった三瓶の良さをたくさん知ることができた。あまり知られていない三瓶の魅力を市内外の多くの人に理解していただけるよう積極的かつ効果的な情報発信に努めていただきたい。

※災害への備え

避難場所で屋根付きや屋内の施設が少ない。高齢者が多く、安心安全に避難するために、避難所の整備を行って欲しい。

野村高校

※公営塾

あやぐも塾に専従している先生は1人しかおらず、曜日によって学びたいと思う科目を学ぶことができない。曜日ごとに決まった科目を教える体制にできないか。また、専門的な分野を教えることのできる先生を増やすことはできないか。

現在、国公立の推薦入試に向けた対策を教えてもらい助かっている。引き続き推薦入試対策に向けたアドバイスを続けてもらいたい。

※勉強する場の提供

市の中心である宇和町には「ゆるりあん」や「まなびあん」など、自宅以外で気軽に勉強する場所があるが、旧町によって、自宅以外で気軽に勉強ができる場所がないため、高校生等が気軽に勉強できる場所がほしい。

来年4月から公民館が地域づくり活動センターに移行するが、地域づくり活動センターで平日や土日に勉強するスペースを確保することはできないか。

また、勉強する際にWi-Fiが必須であるため、勉強する場所にフリーWi-Fiを設置できないか。

※街灯の増設

昨年、野村町や城川町は街灯が少なく学校の帰り道に暗くて危ないところがあるため、街灯を増やして欲しいと要望し、主要な幹線道路（国道・県道）については、西予土木事務所（県）の管轄になるため、街灯の必要な場所があれば土木事務所に相談して設置を促していきたいと考えているとの回答であった。

昨年から状況は変わっておらず、特に、城川から野村に向かう通学路については、街灯がない場所が多く、夜は真っ暗で自転車のライトだけでは前に人がいるかどうかわかりづらく事故を起こさないか心配である。通学路という観点からも事故を起こす前に対策をとるよう西予市から管理者に働きかけはできないか。

※道路の清掃

通学に使用する道路に石や落ち葉などが落ちており滑りやすく、通学時に危険を感じることもある。安全面を考慮した整備や道路清掃を行ってほしい。

※公共交通

地域によって交通の便が悪く、通学する際の移動手段が不便なため、保護者が高校まで送迎している生徒も多い。来年度から公民館が地域づくり活動センターに移行するが、公共交通の一つの手段として、地域で高校等への送迎を行うようなことはできないか。